



## 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月27日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 アトム

コード番号 7412 URL <http://www.atom-corp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小澤 俊治

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 太田 一義

TEL 052-857-5225

四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	39,622	△0.0	1,173	△50.2	1,222	△49.2	82	△93.2
28年3月期第3四半期	39,631	5.0	2,356	△1.6	2,407	△2.2	1,222	11.8

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 118百万円 (△90.8%) 28年3月期第3四半期 1,288百万円 (12.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	0.17	—
28年3月期第3四半期	6.35	6.19

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	34,432	15,831	46.0	59.01
28年3月期	34,911	16,161	46.3	60.64

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 15,831百万円 28年3月期 16,161百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	53,949	2.1	2,551	△18.2	2,587	△18.6	740	△58.4
								3.59

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	183,136,621 株	28年3月期	183,136,621 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	470,771 株	28年3月期	470,671 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	182,665,946 株	28年3月期3Q	182,666,247 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高は396億22百万円(前年同期比0.0%減)、営業利益は11億73百万円(同50.2%減)、経常利益は12億22百万円(同49.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は82百万円(同93.2%減)となりました。

当第3四半期連結累計期間において新規出店を19店舗、ブランド変更を2店舗、改装を8店舗行い、不採算店8店舗、契約終了により2店舗及び道路拡張に伴い1店舗を閉鎖、FC契約終了により1店舗減少し、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は492店舗(直営店475店舗、FC店17店舗)となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

## &lt;レストラン事業&gt;

レストラン事業につきましては、新店16店舗(「ステーキ宮」7店舗、「カルビ大将」6店舗、「にぎりの徳兵衛」2店舗、「かつ時」1店舗)をオープンし、改装を7店舗(「味のがんこ炎」4店舗、「ステーキ宮」2店舗、「にぎりの徳兵衛」1店舗)、不採算店2店舗(「ステーキ宮」1店舗、「がんこ亭」1店舗)及び道路拡張に伴い1店舗(「ステーキ宮」)の閉鎖を行い、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は287店舗となりました。

以上の結果、レストラン事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、262億94百万円(前年同期比3.3%増)となりました。

## &lt;居酒屋事業&gt;

居酒屋事業につきましては、新店3店舗(「いろはにほへと」3店舗)をオープンし、ブランド変更を2店舗(「暖や」から「寧々家」へ2店舗)、改装を1店舗(「いろはにほへと」)、不採算店6店舗(「いろはにほへと」3店舗、「寧々家」1店舗、「NIJYU-MARU」1店舗、「暖」1店舗)及び契約終了により1店舗(寧々家)の閉鎖を行い、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は157店舗となりました。

以上の結果、居酒屋事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、107億87百万円(前年同期比6.6%減)となりました。

## &lt;エンターテインメント事業&gt;

エンターテインメント事業につきましては、契約終了により1店舗(「時遊館」)の閉鎖を行い、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は31店舗となりました。

以上の結果、エンターテインメント事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、19億57百万円(前年同期比6.6%減)となりました。

## &lt;その他の事業&gt;

その他の事業につきましては、FC契約終了により1店舗(「えちぜん」)減少し、当第3四半期連結会計期間末の店舗数はFC店17店舗となりました。

以上の結果、その他の事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、5億84百万円(前年同期比7.0%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産・負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ4億78百万円減少し、344億32百万円となりました。その要因は現金及び預金を主とした流動資産の減少2億54百万円、土地及び建物を主とした固定資産の減少2億24百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ1億48百万円減少し、186億1百万円となりました。その要因は買掛金、短期借入金及び1年内返済予定の長期借入金を主とした流動負債の増加8億5百万円、長期借入金を主とした固定負債の減少9億52百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ3億30百万円減少し、158億31百万円となりました。その要因は四半期純利益の計上及び配当金の支払いによるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は34億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億77百万円減少いたしました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は18億23百万円となりました。

これは主に減価償却費の計上(18億43百万円)によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は16億78百万円となりました。

これは主に有形固定資産の取得による支出(17億50百万円)によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は7億22百万円となりました。

これは主に長期借入金の返済による支出(17億49百万円)、配当金の支払額(4億49百万円)及び短期借入金の純増減額(15億70百万円)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、平成28年10月27日に発表いたしました通期の連結業績予想の数値から変更はございません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法へ変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間における四半期連結財務諸表への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,038	3,461
売掛金	684	891
たな卸資産	400	566
その他	978	928
流動資産合計	6,102	5,847
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	12,617	12,710
土地	3,595	3,487
その他(純額)	2,942	2,815
有形固定資産合計	19,156	19,013
無形固定資産		
のれん	839	750
その他	96	95
無形固定資産合計	936	845
投資その他の資産		
敷金及び保証金	6,530	6,735
その他	2,259	2,046
貸倒引当金	△73	△56
投資その他の資産合計	8,716	8,725
固定資産合計	28,809	28,585
資産合計	34,911	34,432
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,198	3,522
短期借入金	—	1,570
1年内返済予定の長期借入金	2,214	1,878
未払法人税等	1,091	139
販売促進引当金	391	747
引当金	140	34
その他	4,199	4,146
流動負債合計	11,234	12,039
固定負債		
長期借入金	3,483	2,750
資産除去債務	1,289	1,278
その他	2,741	2,533
固定負債合計	7,515	6,562
負債合計	18,749	18,601

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,073	4,073
資本剰余金	7,116	7,116
利益剰余金	5,168	4,802
自己株式	△189	△189
株主資本合計	16,168	15,802
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7	28
その他の包括利益累計額合計	△7	28
純資産合計	16,161	15,831
負債純資産合計	34,911	34,432

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	39,631	39,622
売上原価	12,578	12,822
売上総利益	27,052	26,799
販売費及び一般管理費	24,695	25,626
営業利益	2,356	1,173
営業外収益		
不動産賃貸料	319	310
その他	96	78
営業外収益合計	415	389
営業外費用		
支払利息	131	113
不動産賃貸原価	223	217
その他	10	9
営業外費用合計	364	340
経常利益	2,407	1,222
特別利益		
固定資産売却益	8	24
受取補償金	197	134
投資有価証券売却益	—	108
特別利益合計	205	267
特別損失		
固定資産除却損	248	177
固定資産売却損	—	58
減損損失	36	426
賃貸借契約解約損	15	22
その他	85	11
特別損失合計	385	696
税金等調整前四半期純利益	2,227	792
法人税、住民税及び事業税	854	609
法人税等調整額	150	100
法人税等合計	1,004	709
四半期純利益	1,222	82
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,222	82



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	1,222	82
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	65	36
その他の包括利益合計	65	36
四半期包括利益	1,288	118
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,288	118

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,227	792
減価償却費	1,763	1,843
のれん償却額	89	89
販売促進引当金の増減額(△は減少)	482	356
支払利息	131	113
固定資産除却損	248	177
減損損失	36	426
受取補償金	△197	△134
売上債権の増減額(△は増加)	△252	△206
たな卸資産の増減額(△は増加)	△173	△165
仕入債務の増減額(△は減少)	592	324
未払消費税等の増減額(△は減少)	△429	△141
その他	258	△86
小計	4,778	3,387
利息及び配当金の受取額	14	15
利息の支払額	△130	△112
補償金の受取額	197	134
法人税等の支払額	△385	△1,602
法人税等の還付額	54	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,528	1,823
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,048	△1,750
有形固定資産の売却による収入	150	126
投資有価証券の売却による収入	—	286
敷金及び保証金の差入による支出	△889	△599
敷金及び保証金の回収による収入	391	336
事業譲受による支出	△197	—
その他	△279	△76
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,873	△1,678
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	910	1,570
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△773	△772
長期借入れによる収入	480	680
長期借入金の返済による支出	△1,931	△1,749
配当金の支払額	△994	△449
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,309	△722
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△654	△577
現金及び現金同等物の期首残高	4,637	4,038
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,983	3,461

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。